

単元名

「天気とその変化」

挑戦問題

『雲はどのようにしてできるのか?』

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 情報収集・判断 思考・表現 挑戦・探究 協力・協働

期待される生徒の変容

気象に関わる情報を収集し、整理・分析する中で、雲が発生する原理や天気の変化の規則性を見つけ出し、それらを活用して、自ら毎日の天気を予測しようとするようになることが期待できる。

平成28年度の取組より

Before 【生徒の振り返りシートより】

- ・雲にはいろんな種類があることが分かった。でも、まだ「積雲」くらいしか分かりません。
- ・今日から天気の勉強に入りました。なぜ雲はいろんな形に変わるのか、とても疑問に思います。私は雲を見るのが好きなので、毎日見て、雲の名前を完璧に覚えられるように頑張ります。
- ・最終目標の天気図が読めるようになりたいです。
- ・天気図は、いろんなことが書いてあって、ごちゃごちゃしていましたが、それだけたくさんの情報があると思うので、情報を正しく理解して、天気図が読めるようになりたいです。



雲をつくる実験

After 【振り返りシートより】

- ・最初は、雲の名前すら知らなかったのに、勉強を通して今では雲の名前が言えるし、雲を見ただけで明日、明後日の天気がある程度予想できるようになったことがすごいです。
- ・今まで、天気予報のマークだけを見ていたのが、天気図を見ただけで天気が分かるようになった。そして、天気の学習はこれからも役に立つので、学べてよかったです。
- ・はじめは、テレビで天気概況を見たり、聞いたりしても、難しい言葉や図でよく分からなかったけど、今では天気図や雲を見て、これからの天気や雲の動きを自分で予測することができます。
- ・天気図をはじめから書くなど、他の学校ではやらないことに挑戦できたのでよかったです。
- ・天気図をかくとき、はじめは難しかったけど、友だちに聞いたり、自分で考えたりしながらやっていくうちに、かけるようになりました。
- ・テレビで天気図を見ても、まったく分からなかったのが、今では天気図を見たら、「明日雨が降るな。」とか予想できるようになりました。



天気図を作成しているところ

平成29年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

雲の発生や気温の急激な変化など、身近な気象現象について天気図を見ながら自ら予測しようとする生徒が見られたり、天気を予測することで役立ち感を得た生徒が見られたりした。そこで、これまでのルーブリックを見直し、これまでの知識・技能を活用し、根拠をもって天気の予測ができるというSレベルを設定することで、さらに多くの生徒の挑戦意欲を高めていく。